

受理	平成27年3月3日	請願第2号
件名	公立保育所民営化具体的実施に向けて慎重な検討を求める請願	
請願者	吹田市岸部南1丁目25番20-205号 里 美恵子 吹田市山田東1丁目9番4-501号 藪田 咲子 吹田市佐井寺2丁目21番17-601号 三輪 耕平 ほか1,359人	
請願の要旨	<p>一昨年12月に「公立保育所民営化実施計画の慎重な検討を求める請願」を採択していただき、慎重な議論の下で、民営化選定委員会条例案を一時、白紙に戻していただき、心より感謝しております。私たちは、公立保育園に子供を預けている保護者並びに保育関係者です。</p> <p>3月議会及び5月議会を経て、こども部から民営化の実施計画についての具体的な状況説明を民営化計画対象園が受けました。その内容は「取りあえず民営化スケジュールは白紙だが、実施計画自体は消えているわけではない」とのことでした。</p> <p>こども部のスタンスとしては、平成28年度（2016年度）からの民営化に向けて、本来なら委託事業者を決め、三者面談から引継ぎ保育という状況に対して、現状の見通しが立たない状況では何とも言えないが、とは言え、平成28年（2016年）から実施できないとも明言できない、本当に何とも言えないとのことでした。</p> <p>私たち保護者は、民営化に対して、急いでくれとも、止めてくれともお願いしているわけではありません。大事な子供たちを安心して預かっていただけ環境に対しての明確な道筋なり計画が具体的になっていないまま、計画どおりというスケジュールありきで物事を一方的に進められるのではないかと危惧しているのです。</p> <p>白紙になって以来、この3月までの9か月間、民営化についての進捗状況及び説明会すら一切行われていないままです。去年の春先まで、何度か市から説明会を開催していただいておりますが、「既に2回から4回開催しているから、急に選定委員会設置条例の提案をしても大丈夫だろう」となるのではなく、民営化移行に対して何か動きがある場合は、この半年以上の空白をもう一度、経緯の変化も含め、再度、丁寧に回数を重ねて説明していただいた上で、慎重に議論してもらいたいと思っています。</p> <p>吹田市としては、「財政非常事態は脱した」とホームページでも案内されて</p>	

<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>います。私たち保護者は、説明会で「財政が厳しいから」と説明を受けてきましたが、この結果を拝見して「状況が変わっているなら、計画を再考できるのでは」とも感じました。また、説明会の際に、私たちがお願いをしている影響調査もされていませんし、アンケートへの回答もされていません。</p> <p>そのようなことも含めて考えれば「理解していない」というのが現状ですので、やはりもう一度考えていただきたいということも含めて、継続して慎重に議論をしていただくよう、心より下記の事項を請願します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 吹田市公立保育所民営化実施計画、特に選定委員会設置条例は、拙速に進めようとせず、当事者である保護者や地域市民の意見を再度十分に聞き、実施による影響などの調査を綿密に行うなどして、より良くなるよう慎重に進めてください。</p> <p>2 子供たちが安心して成長できる環境づくりと施策の充実に引き続き市が責任を持って取り組んでください。</p>
<p>署名</p>	<p>238人</p>
<p>紹介議員</p>	<p>塩見みゆき 山口 克也 梶川 文代 竹村 博之 山根 建人 柿原 真生 倉沢 恵</p>
<p>付託</p>	<p>福祉環境委員会</p>